

「加古川中央市民病院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（RAPN）の治療成績」について

加古川中央市民病院 泌尿器科では、現在、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療が施行された患者さんを対象に表題の研究を実施しております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

小径腎細胞癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（RAPN）は標準的な治療方法として確立されており、当院でも行っています。当院で小径腎細胞癌に対するRAPNが施行された患者さんの周術期成績や術後腎機能および腫瘍学的治療成績を分析し、当院の問題点や改善点を明らかにします。

【研究期間】

病院長承認日～2026年3月31日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2020年3月11日～2024年8月31日までの期間に加古川中央市民病院 泌尿器科でRAPNが施行された患者さんの下記情報を診療録より取得いたします。

- ① 基本情報：身長、体重、年齢、性別
- ② 疾患情報：既往歴、併存疾患、合併症（出血、感染、血栓症）の有無、再発の有無

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、患者さんの情報は直ちに識別することができないように研究対象患者識別番号リストを作成して秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 泌尿器科 責任者氏名：坂田 宏行

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を元としており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重

に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から 5 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

【研究参加の取りやめについて】

いつでも可能です。研究参加取り止めの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用い利ことはありません。しかし、取りやめの申し出をされた時点で、すでに研究成果が学会や論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。なお、同意の拒否および撤回による不利益はありません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 泌尿器科
研究責任者名 坂田 宏行
連絡先：079-451-5500